

令和2年度 第15回県政参画電子アンケート
「鳥取県の保健医療」に関するアンケート

1 調査概要

- テーマ 「鳥取県の保健医療」に関するアンケート
- 実施期間 令和3年2月10日～2月24日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 694名
- 回答数 427名(回答率 61.5%)

2 目的・概要

県民一人ひとりが健やかで生きがいのある幸せな生活を送るためには、必要な医療を適切な場所で切れ目なく提供できる体制を構築し、県民の医療に対する安心・信頼を確保することが重要です。

本県では、平成30年4月に保健医療対策の基本的方策として、5疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患)、6事業(小児医療(小児救急医療を含む)、周産期医療、救急医療、災害医療、へき地医療、在宅医療)等についての課題と対策、達成目標等をまとめた「鳥取県保健医療計画」を策定し、各種施策を推進しているところです。

また、本県では令和2年度に「鳥取県循環器病対策推進計画」を策定し、脳卒中や心臓病、その他の循環器病の予防や早期治療等を推進することとしています。

今回のアンケートは、鳥取県の保険医療体制等に関する会員の皆さまのご意見を伺い、計画の検討や今後の取組の参考とさせていただくため実施しました。

【参考】鳥取県保健医療計画の概要

鳥取県保健医療計画の概要

5疾病・6事業対策、医療従事者の確保と質の向上対策、また県内の病床数の設置基準である基準病床数等を定め、必要な医療を適切な場所で切れ目なく提供できる体制の構築を進めていきます。

【計画の期間】

平成30年度から令和5年度

【計画の主な記載事項】

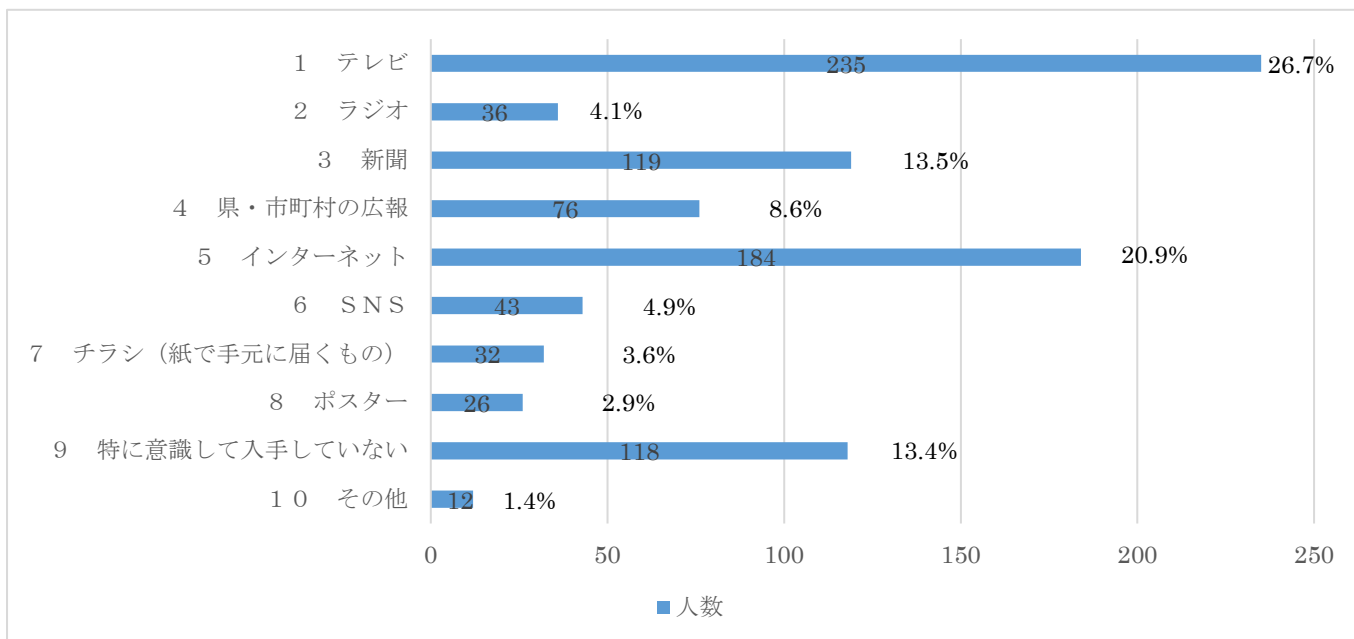
5疾病6事業対策	がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患、小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、へき地医療、在宅医療
医療従事者の確保と質の向上対策	医師、歯科医師、看護師・准看護師、助産師、保健師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士 など

※上記のほか、臓器等移植対策、難病対策、歯科保健医療対策等の課題別対策や、基準病床数等を記載。

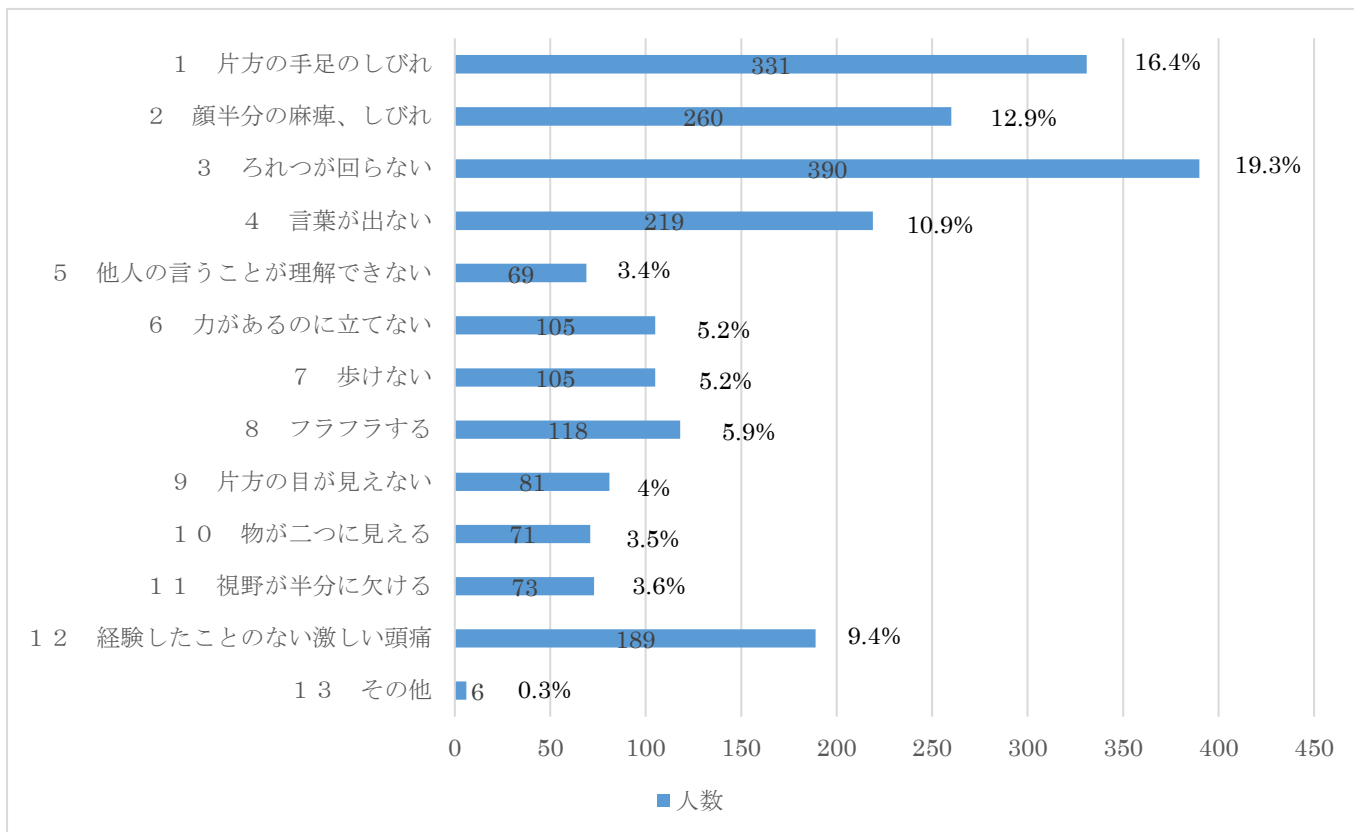
※精神疾患対策には、認知症対策、うつ病対策、依存症対策等を含む。

1. 循環器病(脳卒中や心筋梗塞等、循環器に係る病気)の予防等について

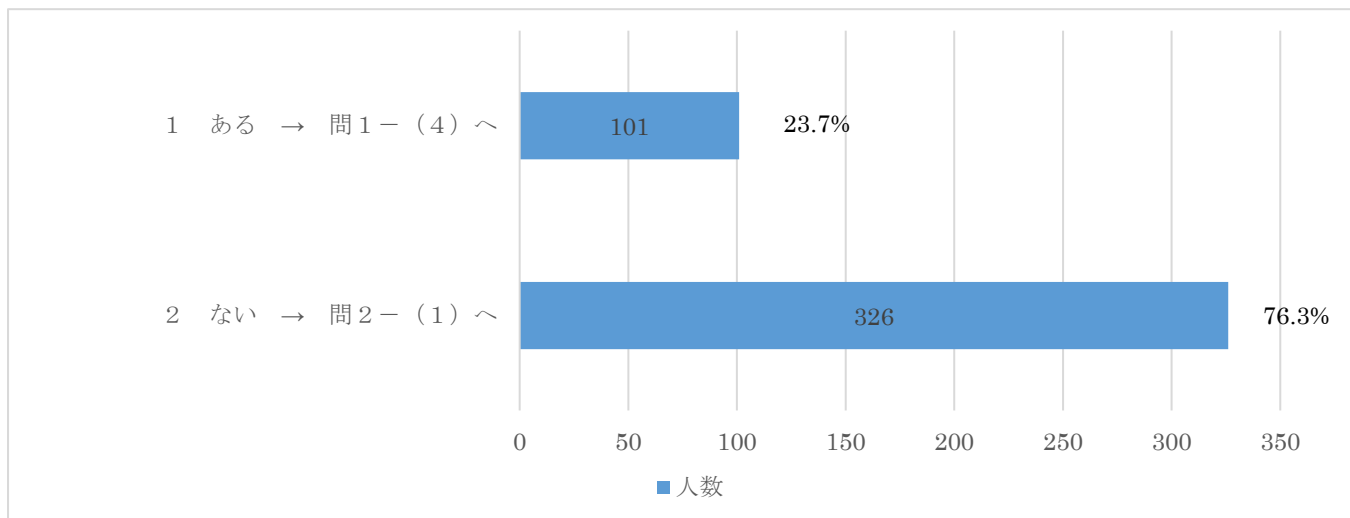
①循環器病の予防や発症時のサインに関する情報について、あなたは主にどのような手段で入手できる環境にありますか。(複数選択可)



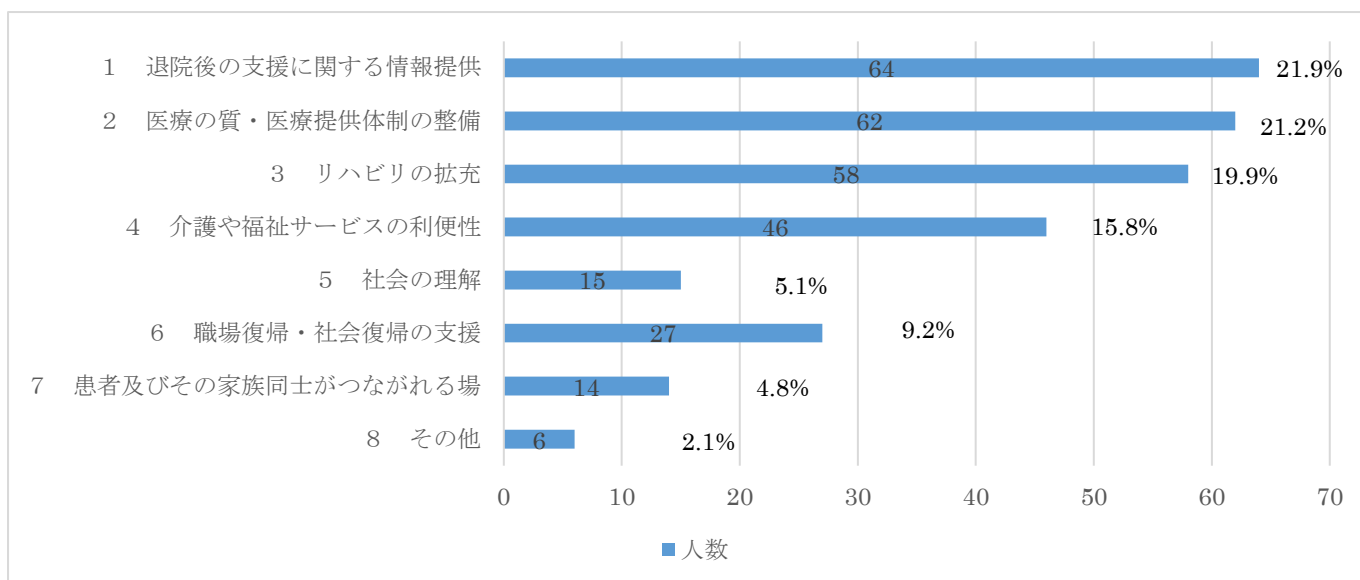
②あなたが知っている脳卒中発症のサインについて、知っているものを選んでください。(複数選択可)



③あなた又は家族が、循環器病を発症したことがありますか。(1つだけ選択)



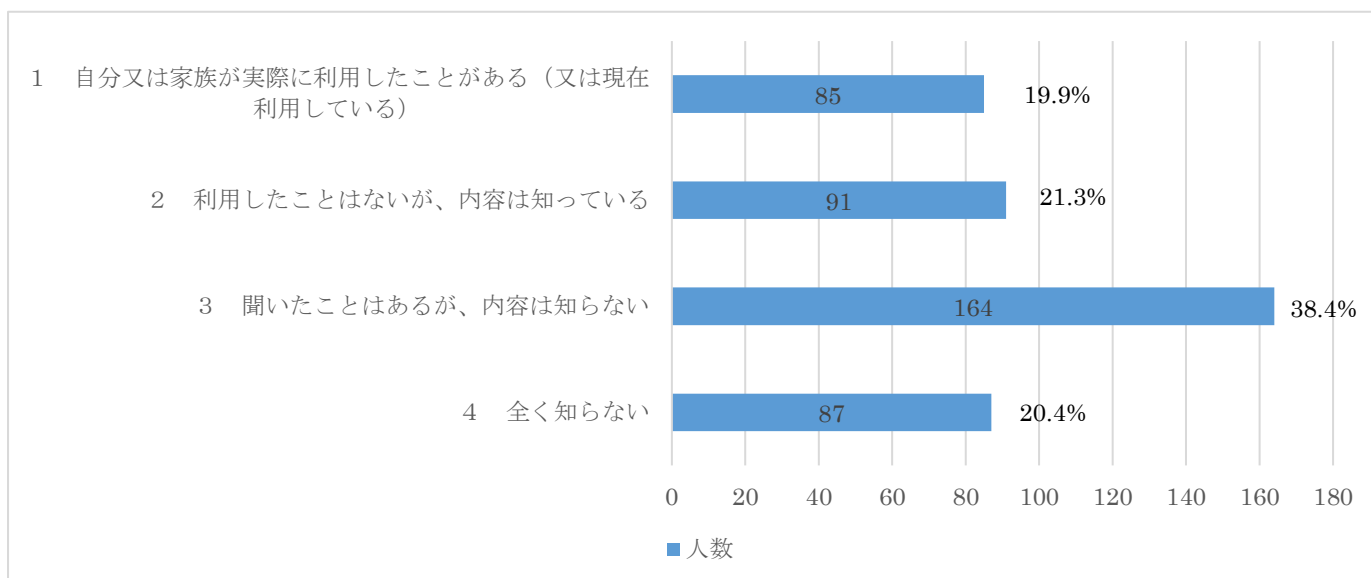
④③で「1 ある」を選択した方へ伺います。あなた又は家族が発症した循環器病の治療中の対応について、特に必要だと思われるものを選んでください。(複数選択可)



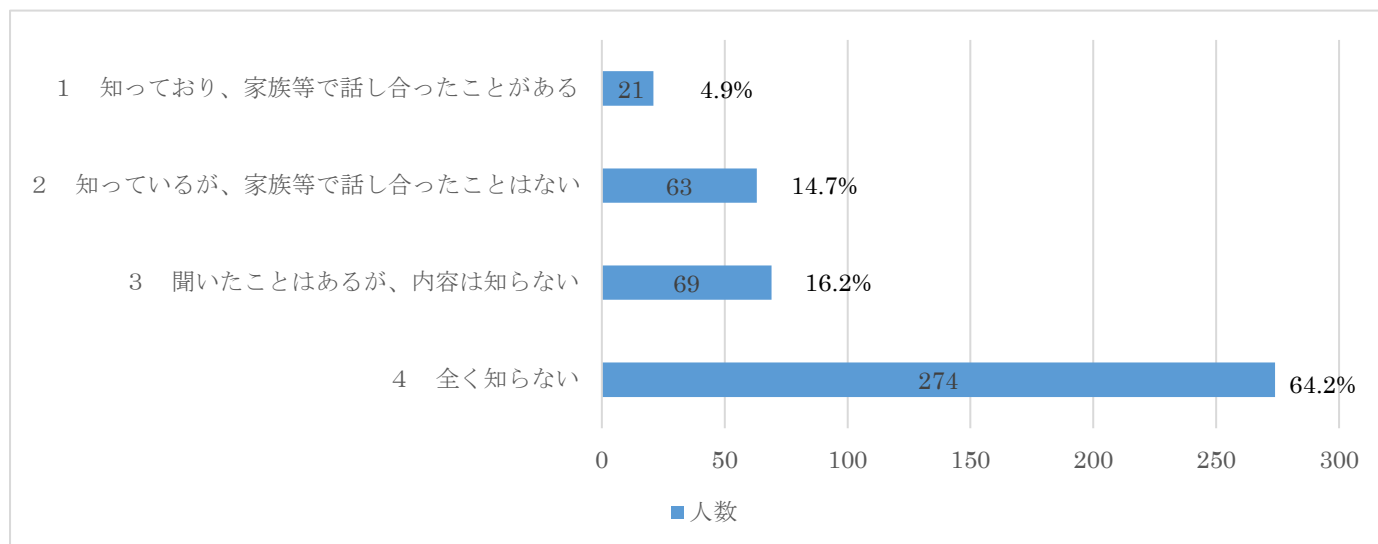
2. 医療提供体制について

(1)在宅医療・人生の最終段階における医療についてお尋ねします。

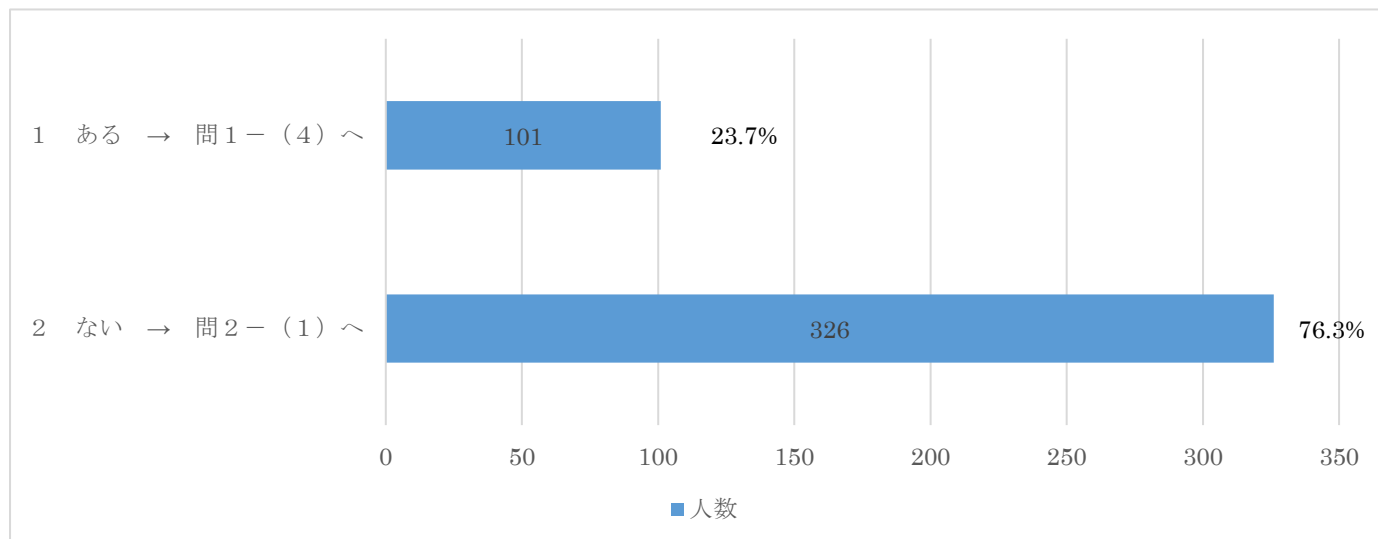
①あなたや家族が療養又は介護が必要となった場合、在宅で受けられる医療、看護、介護サービスについて知っていますか(1つだけ選択)



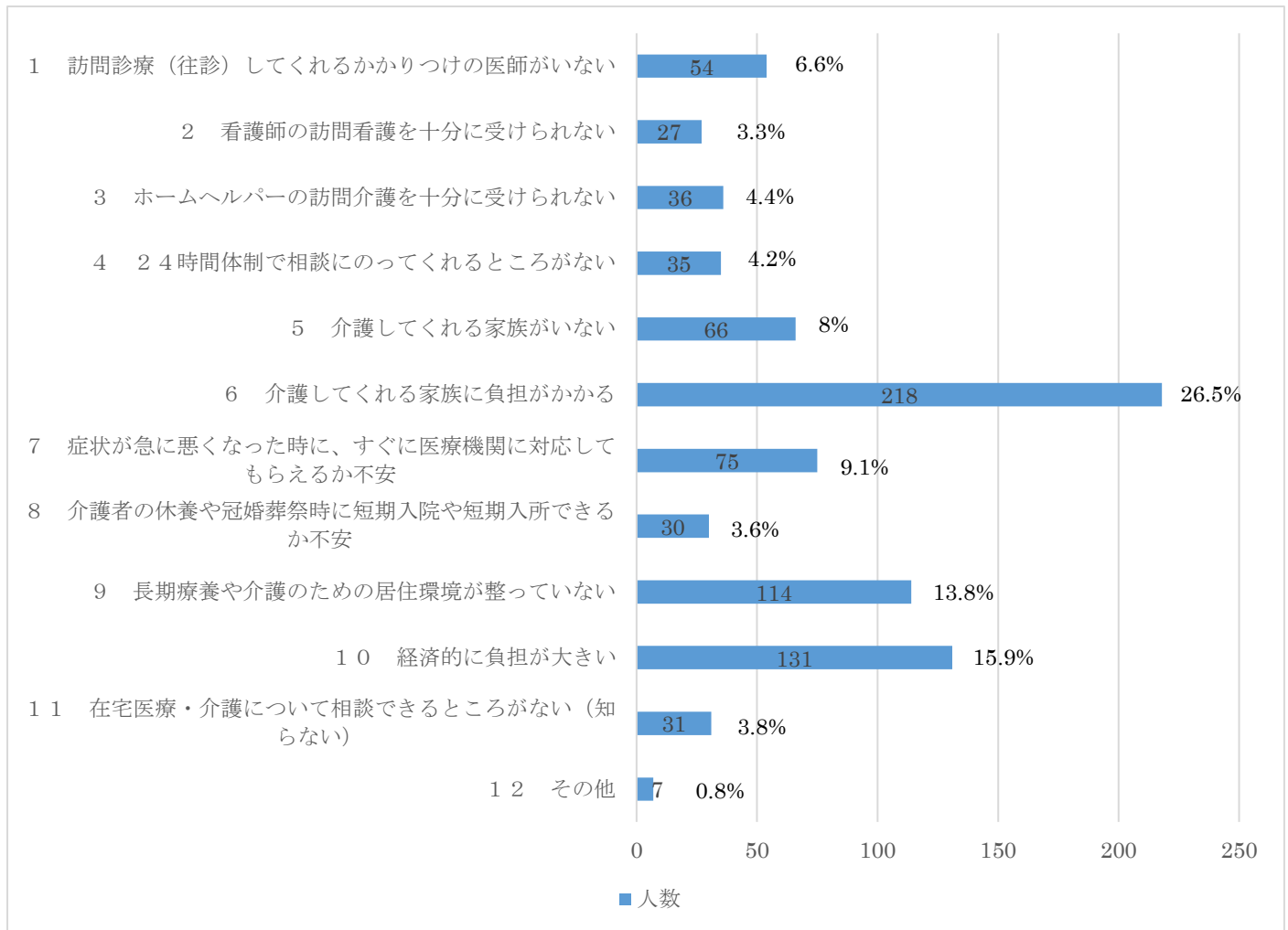
②「アドバンス・ケア・プランニング(※)」について知っていますか。(1つだけ選択)



③あなた又は家族が、循環器病を発症したことがありますか。(1つだけ選択)

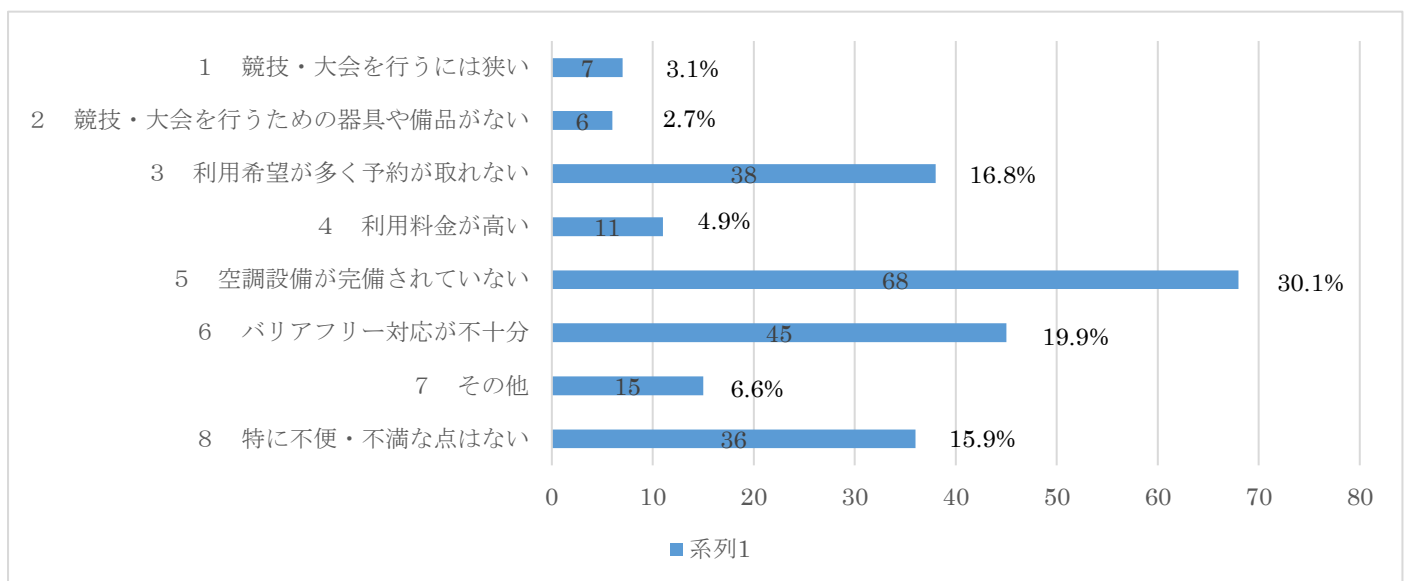


④③で「2 実現困難である」を選択した方へ伺います。あなたや家族が自宅で最期まで療養したり、介護を受けたりすることが「実現困難」であるとする具体的な理由は何ですか。あなたのお考えに近いものすべてを選んでください。(複数選択可)

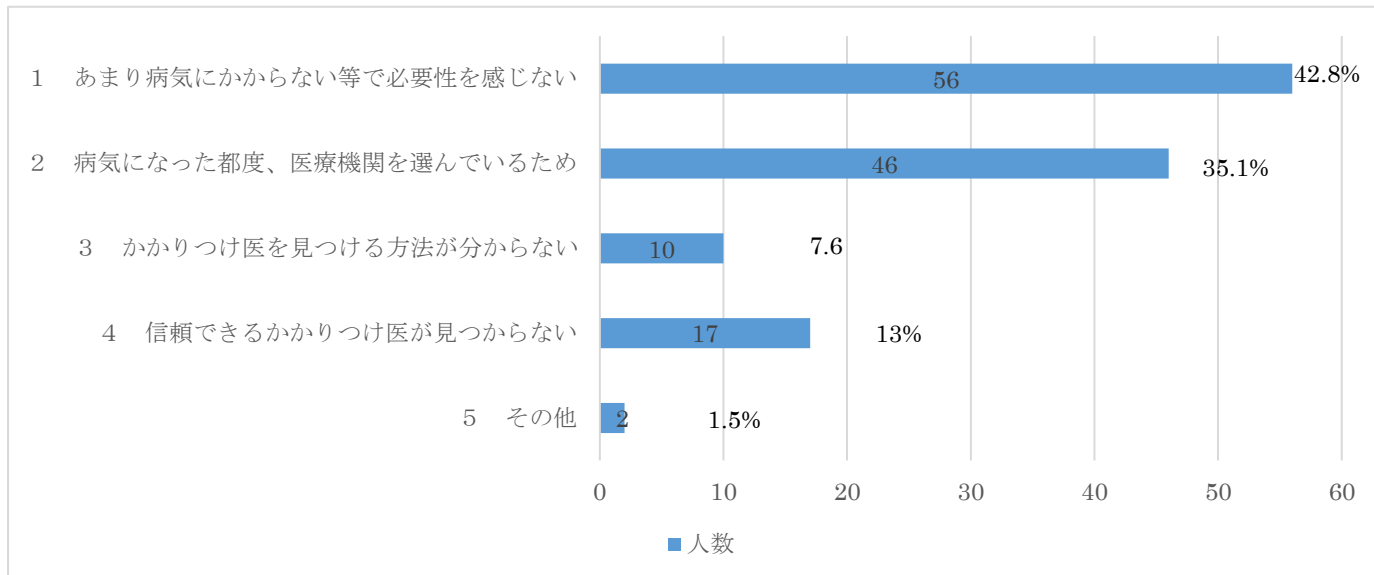


(2)かかりつけ医、救急医療についてお尋ねします。

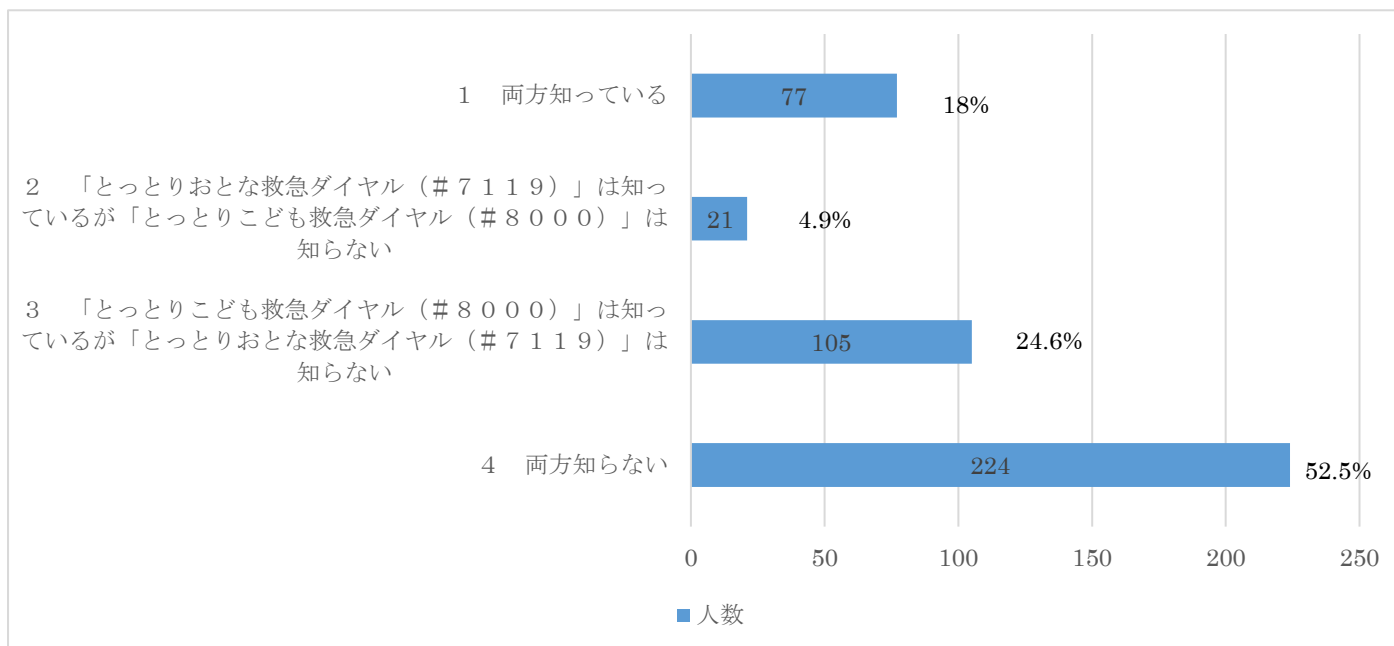
①あなたには、かかりつけの医療機関がありますか。



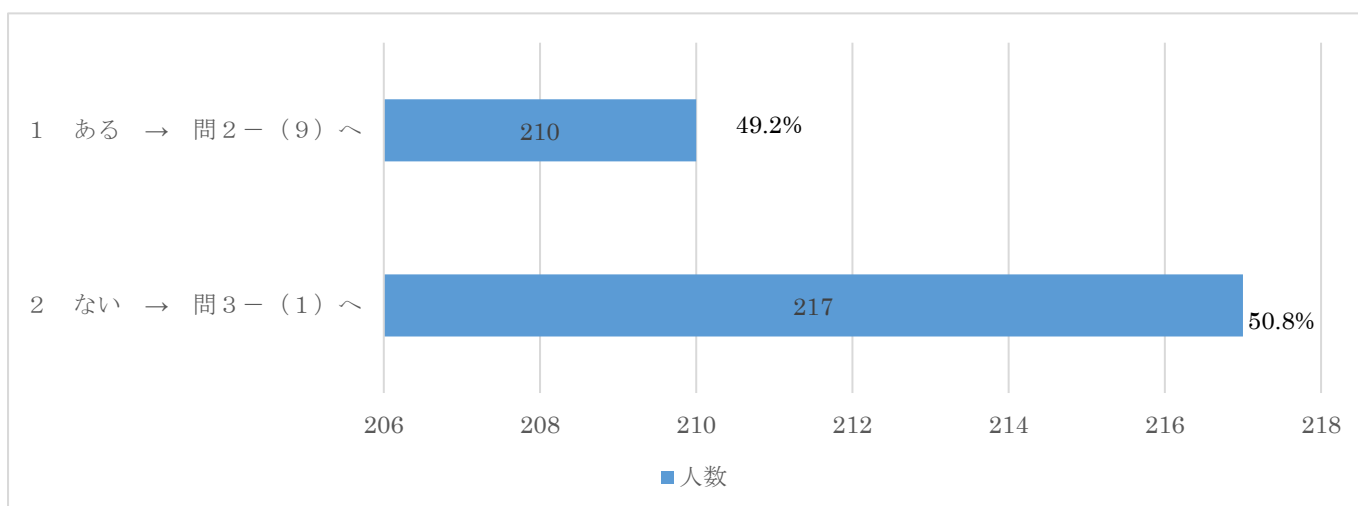
②①で「2 ない」と選択した方へ伺います。その理由はなぜ何ですか。(複数選択可)



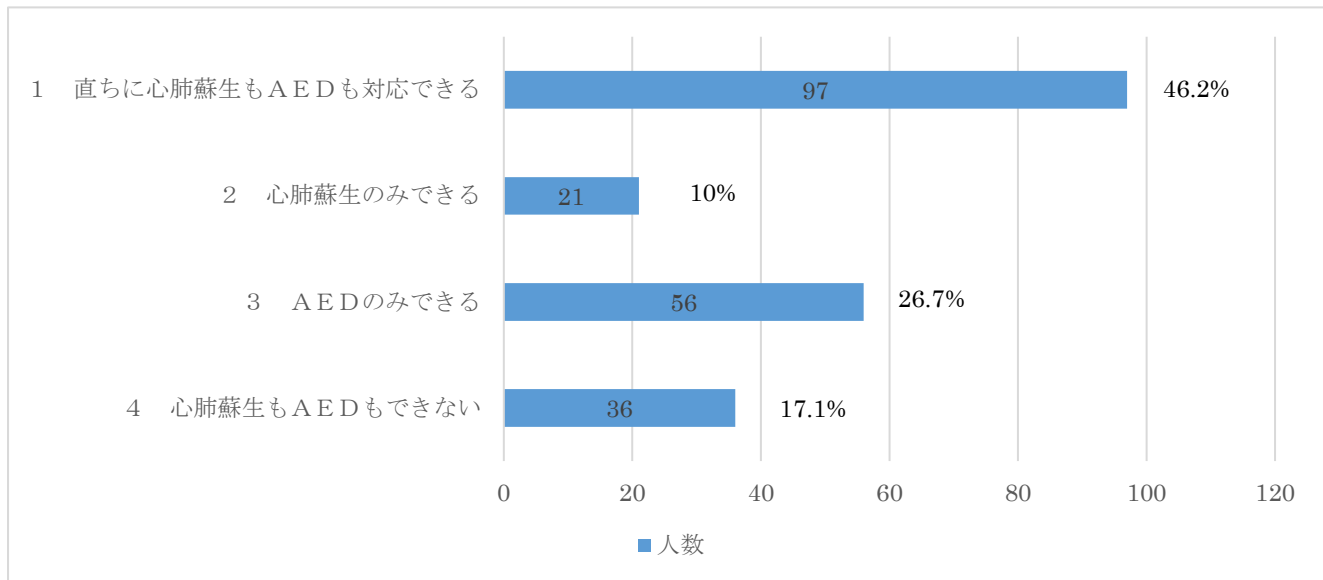
③県では、急な病気やけがで、医療機関へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったとき(比較的軽症で、入院の必要がない場合)の相談に対応する「とっとりおとな救急ダイヤル(#7119)※1」と「とっとり子ども救急ダイヤル(#8000)※2」のサービスを実施しています。これらのサービスについて知っていますか。(1つだけ選択)



④あなたは、消防局等が主催する応急手当講習会に参加したことがありますか。

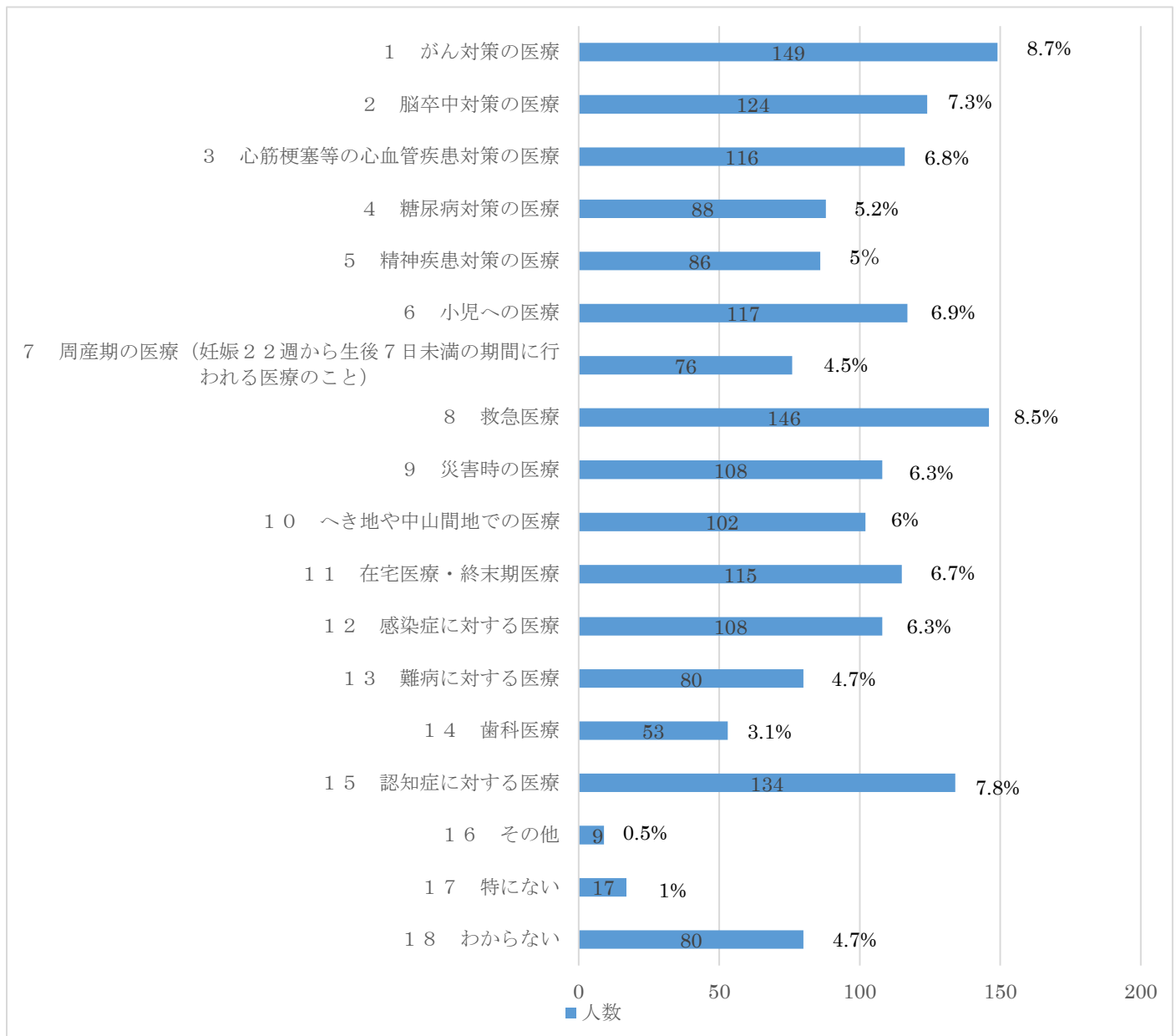


⑤④で「1 ある」を選択した方へ伺います。応急手当講習会受講後、実際に心肺蘇生(心臓マッサージ)やAEDが必要になった場合、あなたは次のいずれに最も近いですか。(1つだけ選択)



(3) 鳥取県の今後の保険医療体制に望むこと。

①あなたは、本県で今後どのような保険医療体制を充実すべきと考えますか。(あるいは本県でどんな保険医療体制が不足していると思いますか。)(複数選択可)



②①で「1 がん対策の医療」～「16 その他」選択された方へ伺います。具体的にどういったことを充実すべきと考えられるかをお教えてください。(任意・2,000文字以内)

○とっとりこども救急ダイヤル、とっとりおとな救急ダイヤルともに何度かけても繋がらなかった経験があります。そちらの体制拡充があると安心できます。

○感染症対策については保健所の拡充が必要。有事のことを考えずに保健所機能を激減させ、コロナに対応困難としているごとき、医療体制の軽視は行うべきではない。

○私自身、後期高齢者の年齢になり、自分自身をはじめ、家族、知人、友人等の終末医療について見聞することが多くなりました。肉体的、精神的、金銭的など、先細り感が否めず、不安材料が多く困惑しそうな昨今です。具体的には痴呆や体力など、個人的には相違があり、命に対する考え方も異なり、延命治療等に関しても、健康な間に、家庭環境、金銭的な諸問題に話し合う機会が持てればと感じます。

など